

HSBC ブラジル オープン

追加型投信／海外／株式



- ・本書(本投資信託説明書(交付目論見書))は、金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書です。
- ・以下の委託会社の<照会先>ホームページにて販売会社(当ファンドの購入の申込取扱場所、本書の提供場所)などの詳細情報をご確認いただけます。
- ※投資信託説明書(請求目論見書)は、<照会先>ホームページにて閲覧・入手(ダウンロード)が可能です。
- ※本書には当ファンドの約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は投資信託説明書(請求目論見書)に掲載されています。

委託会社(ファンドの運用の指図を行う者です。)

HSBC投信株式会社:金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第308号

<照会先>

電話番号:03-3548-5690

(受付時間:委託会社の営業日の午前9時~午後5時)

ホームページ:www.assetmanagement.hsbc.com/jp

受託会社(ファンドの信託財産の保管および管理を行う者です。)

三菱UFJ信託銀行株式会社

投資信託説明書(交付目論見書)

2014年12月26日

HSBC 

Global Asset Management

- ▶ 本書により行う「HSBC ブラジル オープン」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を2014年6月24日に関東財務局長に提出しており、その届出の効力は2014年6月25日に生じています。また、半期報告書の提出に伴い、同法第7条の規定により、有価証券届出書の訂正届出書を2014年12月25日に関東財務局長に提出しております。
- ▶ 投資信託説明書(請求目論見書)は、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。販売会社に投資信託説明書(請求目論見書)を請求された場合には、その旨をご自身で記録していただきますようお願い申し上げます。
- ▶ 当ファンドの商品内容について重大な変更を行う場合には、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき、当ファンドを購入された投資者(受益者)に対して事前に書面にて変更内容をお知らせし、ご意向を確認させていただきます。
- ▶ 投資信託(ファンド)の信託財産は、信託法に基づき、受託会社の固有財産等との分別管理が義務付けられています。
- ▶ 本書は、当ファンドを購入される投資者に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項を記載しています。ご購入の際には、本書の内容を十分にお読みいただきますようお願い申し上げます。

商品分類および属性区分表

商品分類			属性区分				
単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産(収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
追加型	海外	株式	その他資産(投資信託証券(株式))	年1回	中南米	ファミリーファンド	なし

※属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替リスクに対するヘッジの有無を記載しております。
 ※商品分類および属性区分の定義は、当ファンドに該当するものについてのみを記載しています。詳細につきましては、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)をご覧ください。

委託会社等の情報

- ・名称：HSBC投信株式会社
- ・設立年月日：1985年5月27日
- ・資本金(本書作成時現在)：495百万円
- ・運用する投資信託財産の合計純資産総額(2014年10月末現在)：920,754百万円

《HSBCグループおよびHSBCグローバル・アセット・マネジメント》

- ▶ HSBCグループの持株会社であるHSBCホールディングスplcは、英国・ロンドンに本部を置いています。HSBCグループは、ヨーロッパ、アジア・太平洋、南北アメリカ、中東、アフリカにまたがる75の国と地域に6,300を超える拠点を擁し、その歴史は1865年の創業に遡る、世界有数の金融グループです。
- ▶ HSBCグローバル・アセット・マネジメントは、HSBCグループに属する資産運用部門の総称です。ロンドン、パリ、ニューヨーク、サンパウロ、香港、シンガポール、ムンバイ(ボンベイ)、東京等、世界約30の国と地域に拠点を有しています。HSBC投信株式会社は、HSBCグローバル・アセット・マネジメントの一員です。

※上記は本書作成時現在知りうる情報であり、今後変更になることがあります。

1 ファンドの目的・特色

ファンドの目的

「HSBC ブラジル マザーファンド」*¹への投資を通じて、主にブラジル連邦共和国*²の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

*1 以下、「マザーファンド」といいます。 *2 以下、「ブラジル」といいます。

ファンドの特色

1. ブラジルの株式等に投資します。

▶ マザーファンドへの投資を通じて、以下の株式等に投資します。

投資対象企業	<ul style="list-style-type: none">・ブラジル国内の企業・ブラジル経済の発展と成長に関連し、収益のかなりの部分をブラジル国内の活動から得ている、ブラジル以外の国の企業
投資対象有価証券	<ul style="list-style-type: none">・ブラジルの証券取引所(サンパウロ証券取引所)に上場あるいはその他の取引所または取引所に準ずる市場で取引されている投資対象企業の株式・投資対象企業のADR(米国預託証券)やGDR(グローバル預託証券)等 <p>※預託証券とは、ある国の会社の株式を海外でも流通させるために、当該株式を銀行等に預託し、その見合いに海外で発行される証券のことをいいます。</p>

- ▶ 株式の実質組入比率は、原則として高位に維持します。
- ▶ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

2. MSCIブラジル10/40 指数* (円ベース)をベンチマークとして、中長期的に当該インデックスを上回る投資成果を目指します。

* MSCIブラジル10/40指数とは、ブラジルの証券取引所に上場する企業を対象とした一般的な指数である MSCIブラジル指数に対し、投資信託に合わせた調整(一銘柄の構成比率の上限を10%にする、かつ5%を超える銘柄グループの合計の上限を40%にする等)を加えた浮動株調整後時価総額加重平均を算出した指数をいいます。なお、当該指数は、MSCI社(MSCI Inc.)が開発、計算する指数で、同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

当ファンドのベンチマークとしては、同指数を委託会社が円換算した数値を使用しています。

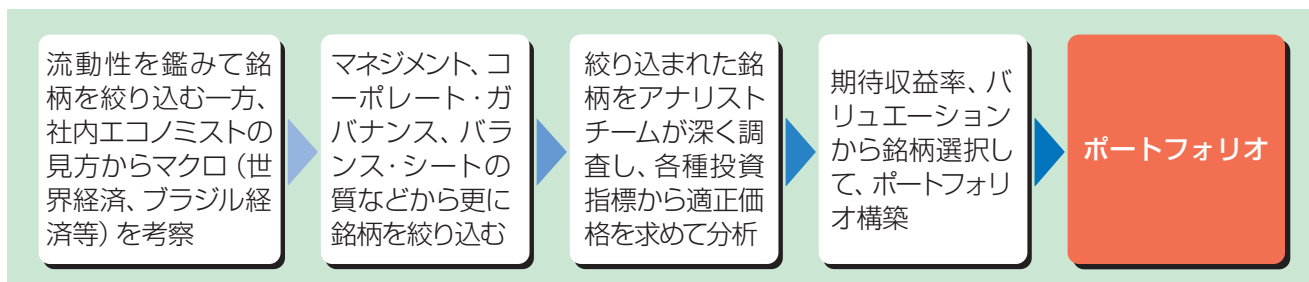


3. HSBC バンク ブラジル エス エイー Banco Múltiploが運用を行います。

- ▶ 運用委託契約に基づいて、HSBC バンク ブラジル エス エイー Banco Múltiplo に、マザーファンドの運用の指図に関する権限を委託します。

※運用の指図に関する権限の委託を中止または委託の内容を変更する場合があります。

- ▶ 投資プロセス

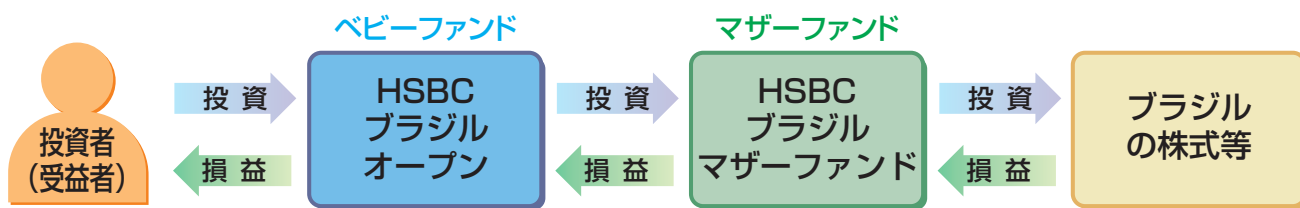


- ▶ HSBCグローバル・アセット・マネジメントに加え、HSBCグループ内の情報ソースを活用します。

ファンドの仕組み

- ▶ 当ファンドはファミリーファンド方式で運用を行います。

ファミリーファンド方式とは、投資者が投資した資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドに投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。ベビーファンドがマザーファンドに投資する際の投資コストはかかりません。



(注) 損益はすべて投資者である受益者に帰属します。

主な投資制限

株式への投資	株式への実質投資割合には制限を設けません。
外貨建資産への投資	外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
同一銘柄の株式への投資	同一銘柄の株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。

1 ファンドの目的・特色

2 投資リスク

3 運用実績

4 手続・手数料等

分配方針

年1回の決算時(毎年3月30日、休業日の場合は翌営業日)に、以下の方針に基づき、分配を行います。

- ▶ 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ▶ 分配金額は、委託会社が基準価額の水準・市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。
- ▶ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

イメージ図

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
—	—	分配金	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 上記は、将来の分配金の金額について示唆・保証するものではなく、分配を行わない場合もあります。

※分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。取扱いコースの有無および各コースの名称は販売会社により異なります。

※「一般コース」の分配金は、税引後、原則として決算日から起算して5営業日までに販売会社で支払いを開始します。「自動けいぞく投資コース」の分配金は、税引後、決算日の基準価額で、無手数料で再投資されます。

<分配金に関する留意点>

- ▶ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- ▶ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ▶ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

※市況動向やファンドの資金動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

< 追加的記載事項 >

ブラジルの概要



水量では世界一、長さではナイル川に次いで世界第2位



ブラジルの首都で、政治の中心。近代建築による計画都市



証券取引所があり、経済の中心。多くの日系人が居住



カーニバルで有名な観光地で、2016年の夏季オリンピック開催地



海底油田地帯

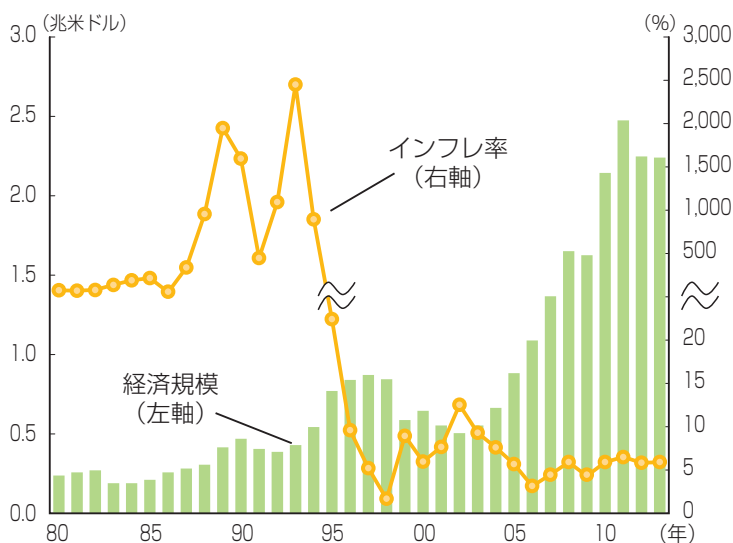
国名	ブラジル連邦共和国
面積	約851.6万km ² (2013年世界第5位、日本の約23倍)
人口	約2億203万人 (2014年推計値、世界第5位)
首都	ブラジリア
言語	ポルトガル語
宗教	主にキリスト教
通貨	レアル
主要産業	製造業、鉱業（鉄鉱石など）、 農牧業（砂糖、オレンジ、コーヒー、大豆など）

出所：外務省、世界銀行、国連World Population Prospects: The 2012 RevisionのデータをもとにHSBC投信が作成

成長軌道に乗ったブラジル経済

- ▶ ブラジルは1980年代から1990年代の債務危機、通貨危機を乗り越え、近年めざましい経済成長を遂げています。
- ▶ 1980年のブラジルの経済規模は世界第16位でしたが、2013年には世界第7位となっています。

経済規模とインフレ率の推移
(1980年～2013年)



※経済規模は名目GDP、インフレ率は拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率(前年比)
出所：ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

経済規模ランキング
1980年

順位	国名	順位	国名
1	米国	6	イタリア
2	日本	7	中国
3	ドイツ	8	カナダ
4	フランス		：
5	英国	16	ブラジル

2013年

順位	国名	順位	国名
1	米国	6	英国
2	中国	7	ブラジル
3	日本	8	ロシア
4	ドイツ	9	イタリア
5	フランス	10	インド

※経済規模は名目GDP
出所：IMF World Economic Outlook Database (October 2014)のデータをもとにHSBC投信が作成

※データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆、あるいは保証するものではありません。

成長を支える原動力

1 豊富な資源

ブラジルの資源生産量ランキング(2012年)

	品目	世界順位
鉱物	ニオブ* ¹	1位
	タンタル* ²	2位
	鉄鉱石	3位
	ボーキサイト* ³	3位
農産物	サトウキビ	1位
	コーヒー	1位
	オレンジ	1位
	大豆	2位
	牛肉	2位
	鶏肉	3位


- *1 超伝導素材／鉄鋼添加剤
- *2 蓄電器、人工骨、人工歯根に利用
- *3 アルミニウムの原料

出所：米国地質調査所(US Geological Survey)、国連食糧農業機関(FAO)のデータをもとにHSBC投信が作成

2 世界から評価される工業力


ブラジルを代表する工業技術

フレックス燃料車




フレックス燃料車(ガソリンとエタノールをどのような比率で混合しても走行できる自動車)は、ブラジルが世界に先駆けて開発しました。

中小型航空機



欧州、米国、日本などの先進国に加え、中国など新興国の航空会社もブラジルのエンブラエル社製の中小型機を相次いで導入しています。

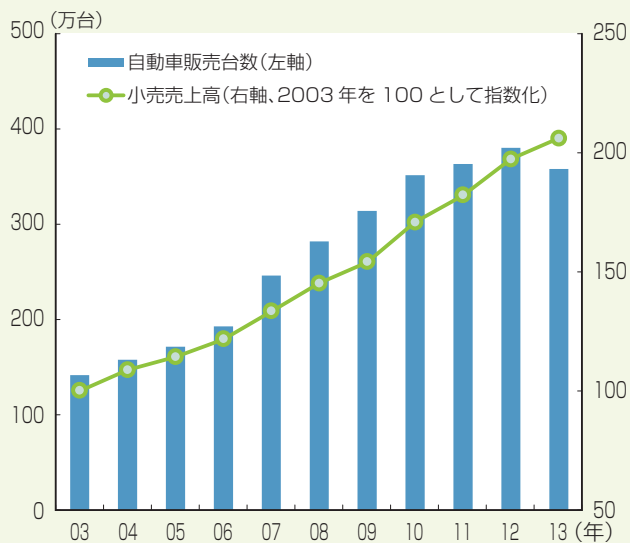
海底油田の技術



ブラジルの石油の多くは深海の海底油田から産出。深海油田の掘削技術はブラジルのペトロブラスが世界でもトップレベルにあります。

3 拡大する個人消費

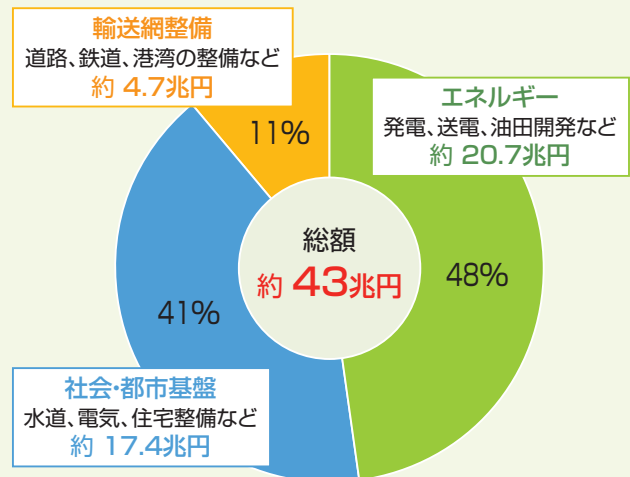
自動車販売台数と小売売上高の推移(2003年～2013年)



出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

4 大規模なインフラ投資計画

成長促進プログラム(PAC)2の分野別内訳(2011年～2014年)

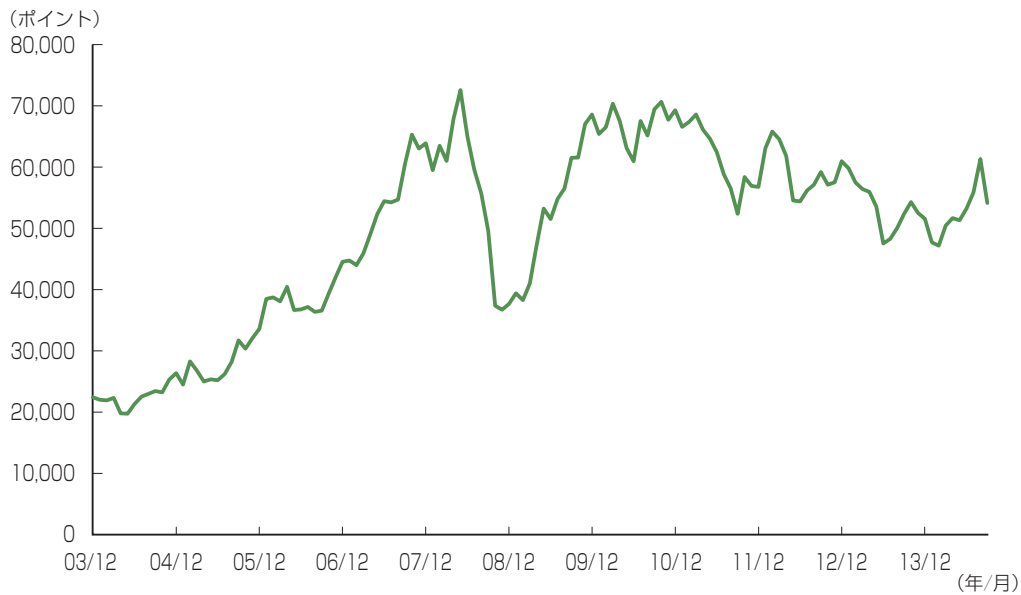


※グラフは表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
 ※1レアル=44.78円で換算(2014年9月末)
 出所：PAC運営委員会の資料をもとにHSBC投信が作成

1 ファンドの目的・特色
 2 投資リスク
 3 運用実績
 4 手続・手数料等

ブラジルの株式市場

ボベスパ指数の推移
(2003年12月末～2014年9月末)



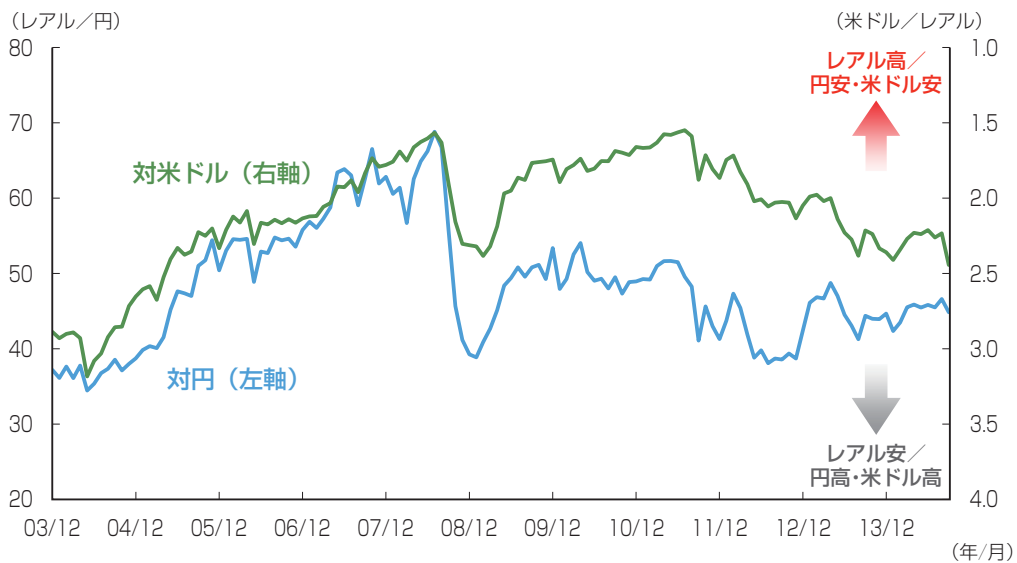
年間騰落率

2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年*
17.8%	27.7%	32.9%	43.6%	-41.2%	82.7%	1.0%	-18.1%	7.4%	-15.5%	5.1%

*2014年の年間騰落率は9月末まで
出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

為替レートの推移

レアルの推移
(対円、対米ドル、2003年12月末～2014年9月末)



出所：ブルームバーグのデータをもとにHSBC投信が作成

※データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆、あるいは保証するものではありません。

2 投資リスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。当ファンドは、主に値動きのある外国の有価証券を実質的な投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

基準価額の変動要因

〈主な変動要因〉

株価変動リスク	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。株価は短期的または長期的に大きく下落することがあります。株式市場には株価の上昇と下落の波があり、現時点で価格が上昇傾向であっても、その傾向が今後も継続する保証はありません。
信用リスク	株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる可能性があります。債券等への投資を行う場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。
為替変動リスク	外貨建資産の円換算価値は、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。新興国市場は、一般的に先進諸国の市場に比べ、市場規模が小さいことなどから、上記の各リスクが大きくなる傾向があります。
税制変更リスク	ブラジル国内の有価証券投資については、非居住者に対して金融取引税*が課されることがあります。当該関係法令が改正された場合等には、基準価額に影響を受ける可能性があります。 *日本を含む海外の投資者がブラジル国内のブラジルレアル建ての債券や株式を購入するために、外貨(日本円、米ドル等)からブラジルレアルに交換する際の為替取引等に対して課される税金のことです。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- ▶ 当ファンドの購入の申込みに関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(クーリング・オフ)の適用はありません。
- ▶ 当ファンドは預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- ▶ 他のベビーファンドが当ファンドの投資対象であるマザーファンドに投資する場合、他のベビーファンドにおける資金変動等が当ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

リスクの管理体制

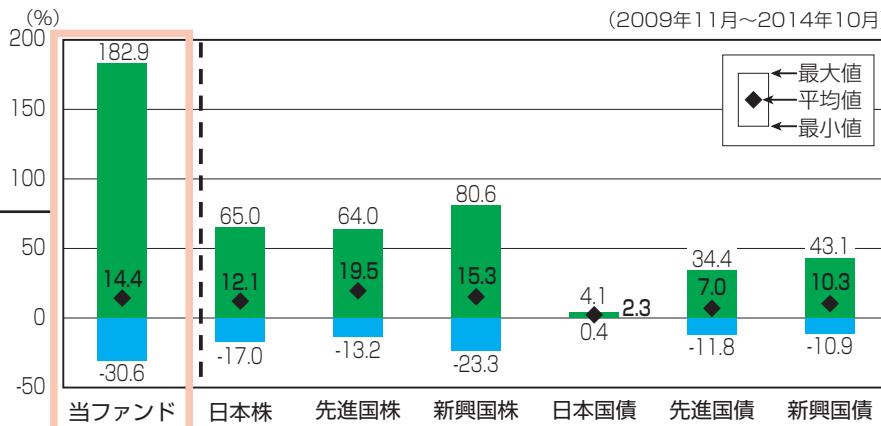
運用リスクの管理は、チーフ・インベストメント・オフィサー、コンプライアンス・オフィサー、運用モニタリングマネジャー、運用から独立したリスク管理担当部署による複眼的な管理体制を採っております。リスク管理の状況は、定期的開催されるリスク管理委員会(運用拠点により呼称が変わることがあります。)において報告・審議され、組織的な対応が行われています。

※運用リスクの管理については、HSBCグローバル・アセット・マネジメントの代表的な管理方法について記載しております。なお、この体制は本書作成時現在のものであり、今後変更になる可能性があります。

< 参考情報 >

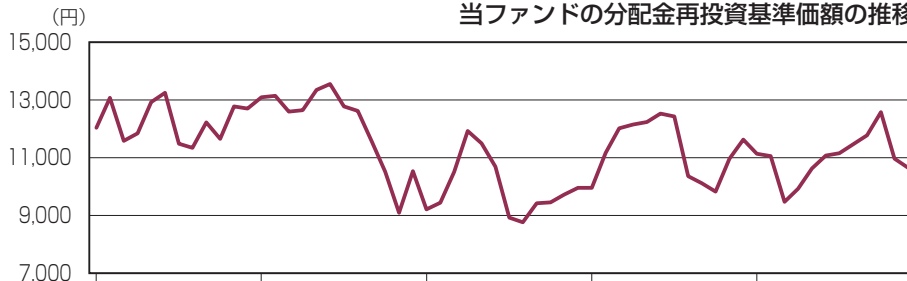
当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2009年11月~2014年10月)

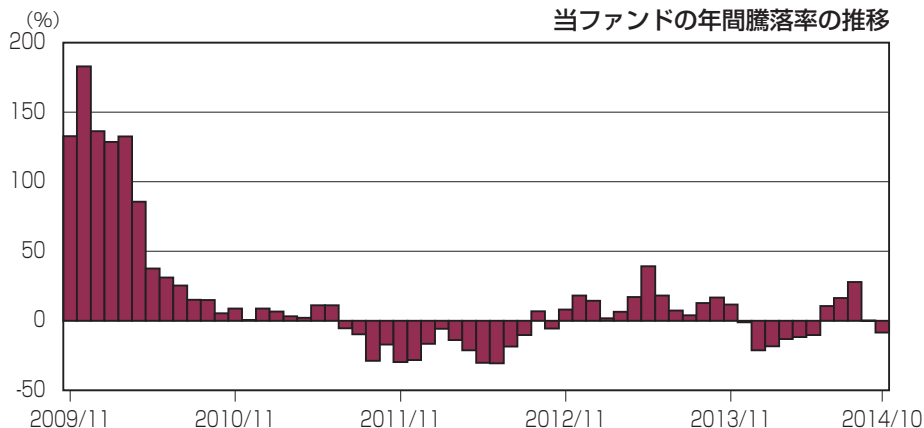


(注) グラフは、当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記記載の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。なお、代表的な資産クラスのすべてが当ファンドの投資対象になるとは限りません。

当ファンドの分配金再投資基準価額の推移



当ファンドの年間騰落率の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、税引き前の分配金が分配時に再投資されたものとみなして計算した基準価額であり、実際の基準価額とは異なる場合があります。
 年間騰落率は、各月末の分配金再投資基準価額の値を当該月の1年前の値と比較して計算した騰落率(%)であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
 分配金再投資基準価額および年間騰落率はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

< 参考 > 各資産クラスの指数

- 日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
- 先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)
- 新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
- 日本国債：NOMURA-BPI 国債
- 先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)
- 新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイド (円換算ベース)

- ・東証株価指数 (TOPIX) は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利および東証株価指数 (TOPIX) の商標または標章に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。なお、当ファンドは、株式会社東京証券取引所により提供、保証または販売されるものではなく、株式会社東京証券取引所は、当ファンドの発行または売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。
- ・MSCI コクサイ・インデックス、MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、その著作権、知的財産その他一切の権利は MSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- ・NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
- ・シティ世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は Citigroup Index LLC に帰属します。
- ・JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースファイドに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、J.P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

1 ファンドの目的・特色

2 投資リスク

3 運用実績

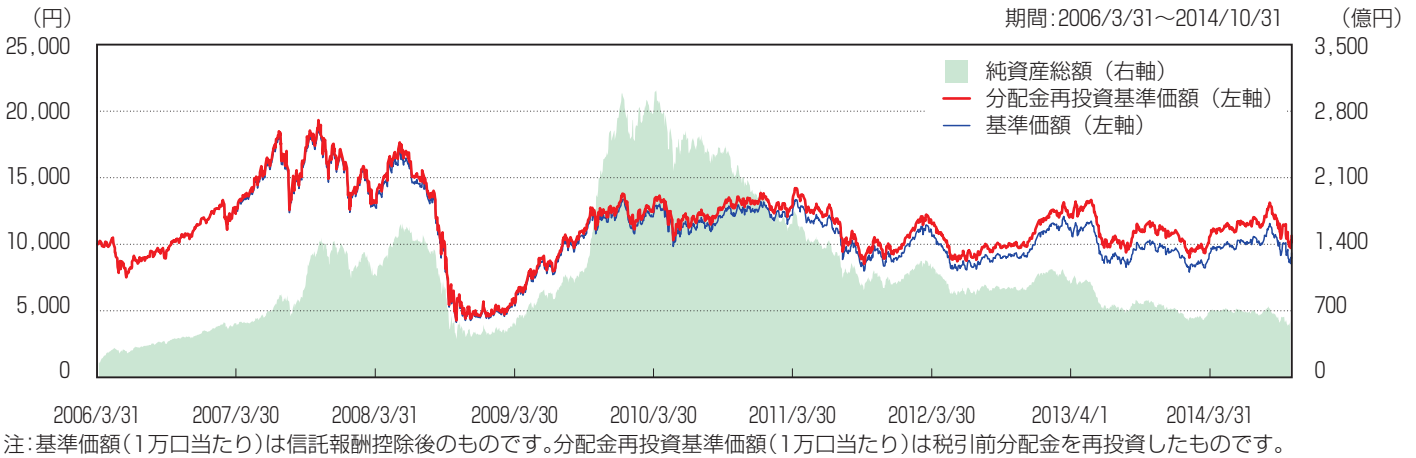
4 手続・手数料等

3 運用実績

(2014年10月末現在) 基準価額：9,364円／純資産総額：590億円

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

① 基準価額・純資産総額の推移

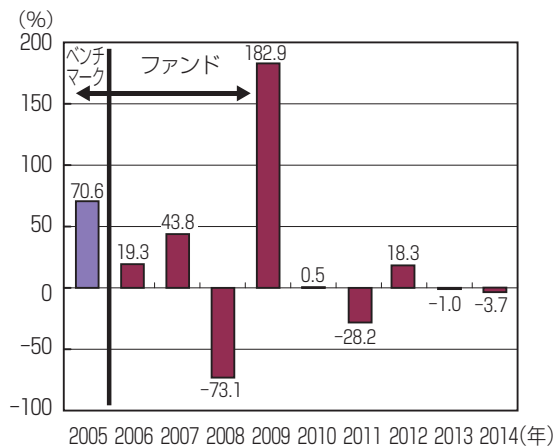


② 分配の推移

決算期	分配金
第8期(2014年3月)	0円
第7期(2013年4月)	500円
第6期(2012年3月)	200円
第5期(2011年3月)	200円
第4期(2010年3月)	200円
設定来累計	1,500円

注:分配金は1万口当たりの税引前の金額です。

④ 年間収益率の推移



- ベンチマークの数値はあくまで参考情報であり、ファンドの運用実績ではありません。
- ファンドの収益率は、税引前分配金を再投資して算出しています。
- 2006年は、設定日(3月31日)から年末までの騰落率です。
- 2014年は、年初から10月末までの騰落率です。

※ファンドの運用状況は別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。

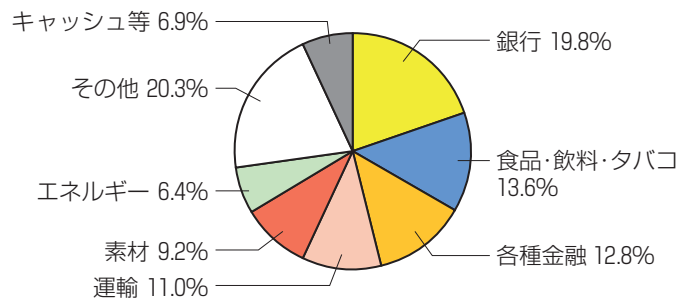
③ 主要な資産の状況

(マザーファンドのデータを表示しています。)

順位	銘柄名	業種	比率
1	イタウ・ウニバンコ・ホールディング	銀行	10.2%
2	CCR	運輸	7.9%
3	ブラデスコ銀行	銀行	7.1%
4	ペトロプラス	エネルギー	6.4%
5	イタウザ・インベストメントス・イタウ	各種金融	5.0%
6	アンペブ	食品・飲料・タバコ	4.5%
7	BRF	食品・飲料・タバコ	4.3%
8	ブラデスパル	各種金融	3.8%
9	TOTVS	ソフトウェア・サービス	3.7%
10	サンマルチャーニョ	食品・飲料・タバコ	3.3%
組入銘柄数			40

・銘柄名は、報道等の表記を参考にHSBC投信が翻訳しており、発行体の公式名称やその和文訳と異なる場合があります。

業種別組入比率



・表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※当ファンドにおけるマザーファンドの組入比率は100.18%です。

金融取引税の基準価額への影響等を月報で開示しております。月報は委託会社ホームページでご覧いただけます。

4 手続・手数料等



お申込みメモ

購入単位	販売会社が個別に定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	購入代金は、販売会社が個別に定める期日までに、販売会社に支払うものとします。 *購入代金とは、購入金額(購入価額×購入口数)に購入時手数料(税込)を加えた金額です。
換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目以降に販売会社でお支払いします。
申込締切時間	原則として午後3時までとします。
購入の申込期間	2014年6月25日から2015年6月24日まで (当該期間満了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。)
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
購入・換金の申込受付の中止及び取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金の申込受付の中止及び取消しを行う場合があります。
信託期間	無期限(信託設定日:2006年3月31日)
繰上償還	ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には、信託を終了させる場合があります。
決算日	毎年3月30日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。分配金の受取方法により、分配金を受取る「一般コース」と分配金を再投資する「自動けいぞく投資コース」の2つのコースがあります。
信託金の限度額	1兆円
公告	原則として電子公告により行い、委託会社のホームページ (www.assetmanagement.hsbc.com/jp)に掲載します。
運用報告書	交付運用報告書は、決算時及び償還時に委託会社が作成し、販売会社を通じて知られたる受益者に交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。原則として、収益分配金、換金時及び償還時の差益に対して課税されます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度(NISA)*の適用対象です。 *詳細は次頁の「税金」をご覧ください。 益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても、サンパウロ証券取引所の休場日に該当する場合には、購入及び換金の申込受付は行いません。
その他	基準価額(1万口あたり)は、翌日の日本経済新聞朝刊に「ブラジル株」の略称で掲載されます。

ファンドの費用・税金

〈ファンドの費用〉

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入時にご負担いただきます。 購入金額に、 3.78%(税抜3.50%) を上限として、販売会社が個別に定める率を乗じて得た額とします。	商品内容の説明ならびに購入手続き等に係る費用
信託財産留保額	ありません。	

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	年2.052%(税抜年1.90%)	ファンドの日々の純資産総額に信託報酬率を乗じて計算され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。
(委託会社)	税抜年1.10%	ファンドの運用等の対価 (運用委託先への報酬が含まれます。)
(販売会社)	税抜年0.70%	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	税抜年0.10%	運用財産の管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
その他費用 ・手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。 ・有価証券売買委託手数料／保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用／信託財産に関する租税(ブラジルにおける金融取引税を含みます。)、信託事務処理に要する費用等 ・振替制度に係る費用／印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付及び届出に係る費用／監査法人等に支払う監査報酬等 [純資産総額に対し上限年0.20%として毎日計算され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。] ※その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。	

※ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

〈税金〉

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項 目	税 金
分配時	所得税、復興特別所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時及び償還時	所得税、復興特別所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

※上記は、2014年10月末現在の情報をもとに記載しています。

※少額投資非課税制度(愛称:「NISA(ニーサ)」)をご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得・譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※法人の場合は、上記とは異なります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。